



9月号

令和8年8月31日

横浜市立東中田小学校

校長 飯島 明良

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

積み重ねる

校長 飯島 明良

実家への帰省がてら、茨城県つくば市にある「JAXA 筑波宇宙センター」へ行ってきました。「JAXA 筑波宇宙センター」は日本の宇宙開発の拠点であり、正門を入るとすぐ目の前に、全長約 50 メートルもの本物の H-II ロケットの実機が横たわった状態で屋外展示されています。H-II ロケットは日本が自国で開発した初めての液体燃料ロケットで、その技術は後継の H-IIA、H-IIB、そして現在の H3 ロケットへ受け継がれています。

展示館には、日本の宇宙開発を進めて来た JAXA の歩みと取組の現状が分野ごとに紹介されていました。印象的だったのは、部品一つ一つを精密に設計し、何度も試験やシミュレーションを繰り返しながら安全性と信頼性を高めてきた技術者のみなさんの努力です。わずかな不具合も見逃さないように細部まで確認を重ね、失敗から学びながら改良を続けてきた技術者のみなさん。こうしたたゆまぬ努力の積み重ねが、ロケット開発を支える「土台」となっていることを学びました。



夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。

7月17日の夏休み前の朝会で、「8月27日に元気で会おうね。」と話をしてから40日。楽しい気持ち、やる気に満ちた気持ち、ちょっと不安な気持ち、きっといろいろな気持ちを抱えながら、子どもたちは登校してきたことと思います。そんな様々な気持ちに寄り添いながら、教職員一同、夏休み明けも子どもたちの支援にあたっています。

夏休み明けの朝会では、「続けてみよう」という話をしました。夏休み明けは、気持ちを切り替えて、新しく何かを始めるよいタイミングでもあります。自分のめあてや目標に向けて「〇〇する」を続けてみてほしいと思います。「あいさつをする」「漢字練習をする」「7の段の九九を毎日唱える」「友だちのよいところを見つける」「毎日腕立て伏せを10回する」「ありがとうを声に出して伝える」・・・小さな努力も続けて積み重ねると成長を支える大きな土台になります。技術者のみなさんの努力の積み重ねは、ロケットが宇宙に到達する土台となりました。子どもたちの成長を支える土台作り、そして、学校教育目標を実現するための土台となる取組を大切にして、教職員一同、力を尽くしてまいります。ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

東中田小学校 学校教育目標

自らががやく、ともにかがやく